

国際統合睡眠医科学研究機構 坂口研究室

-睡眠が記憶へ果たす意義の解明-

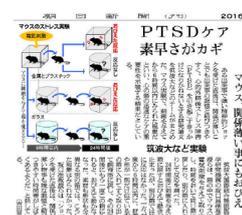
睡眠と記憶は密接に関係しています。私たちは光遺伝学などの最新の研究技術で、睡眠中に記憶が定着するメカニズムを研究しています。将来、PTSD(心的外傷後ストレス障害)の治療などに役に立てることを目指しています。学生の皆さんの研究が、特許・論文・報道など多くの成果につながっています。



NHK報道



学長賞受賞



朝日新聞掲載

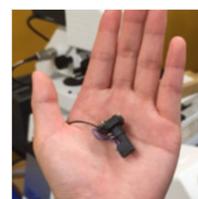
国際誌 発表例
Kumar et al., Neuron, 2020, IF(5y)=16
Purple et al, Sci Rep, 2017, IF(5y)=5
Fujinaka et al., Mol Brain, 2016, IF(5y)=4
Arruda-Galvalho et al, J. Neurosci, 2014, IF=6

-脳の再生メカニズムの解明-

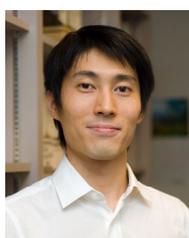
アルツハイマー病, 交通事故, 脳卒中などで脳が障害されても, 通常はニューロンは再生しません. これは血液や皮膚とは全く異なります. しかし脳でも, 海馬という部分に限っては新しいニューロンが毎日産まれています. この新生ニューロンを脳の再生に用いる研究を行っています(各種新聞掲載・国際誌論文35報・特許5件).

-リアルタイムの脳内神経活動の解析-

自然に行動する動物の脳内の神経活動を, 生きたまま観察する技術の研究を行っています. 例えば, 独自の超小型脳内視鏡(右図, 特許・国際論文発表)を開発し, 様々な研究に用いています.



超小型内視鏡を開発



研究室長 坂口昌徳 (筑波大卒・医師・趣味読書旅行ドラマ)
メールや電話等でお気軽にお問い合わせ下さい
Email: sakaguchi.masa.fp@alumni.tsukuba.ac.jp
Tel: 08041652054(直通)
<http://sakaguchi-lab.org>

